

も寄生するもので其の長さは此れ迄知られたものでは十センチから六十センチ位であるが同氏の見出したのは殆んど一メートル(百センチ)の長さで其の幅は最も廣き處即ち頭部より八十センチ隔りたる處にては二、三ミリでそれから後方は漸く狭くなり最後の節片は一、五ミリの幅である然し此の縲蟲の幅につきては今迄記載せられたのは四ミリと言ふものあり七ミリと言ふものがあるが七ミリの幅を有すると言ふのは(Lackland氏記載)恐く誤りであろうと同氏は断定して居る、兎に角從來知られて居た同種のものより非常に長きこと従つて節片の数の多き事(其數二千八百五十にして從來知られたるものは千三百)及其内部構造に多少の相違あることを報告せり。

●人體寄生蟲圖 是は甚だ表題が不當であるが内容は此の記事を見ると分かるのであるがMason氏は從來知られたる人體寄生蟲の主なるものゝ卵、幼蟲、節片(縲蟲)鈎吸盤等の形狀大小を圖に示し之によれば一見何種の動物なるかを知るに便ならしめたれば極めて實用的にして醫者などにも頗る有用のものなるべし此と前後して出版せら

れしは

●人體の縲蟲寄生 にして此は人體に寄生する縲蟲の形狀大小習性より此によりて起る病症治療の法をも記載せられたるが故に此に係はる人には最も必要な書なり。

●*Davainea* の新種 *Zschokke* 氏は猿猴に寄生する *Davainea* の一新種を發表し *Mola* 氏は *Nisaeatus fasciatus* に寄生する同屬の一新種を報告せり。

●縲蟲節片の異常と題し *W. Grohmann* 氏は長編の記載をなし縲蟲節片の異形異常を詳論し特に *Polhrioccephalicum* につき述べたり。

●動物學教室消息 今回より動物學教室に於ける重なる出來事を報道せんに、先づ十月十二日より動物學教室には *Experimental Zoology* の講座初まり 講演者は新歸朝者ドクトル、理學士理科大學講師谷津直秀氏にして、毎週三時間、木、金に講演せらる、二十一日夜六時よりは例により山上集會所に雜誌會あり、出席者は飯島、飯塚、石川、丘、岩川、藤田(輔)、三宅、小泉、波江、永井、高倉、宮島、谷津、吉田、大島(正滿)、妹尾、柳、川村、寺崎、田中の